

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院に、胃癌で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学人体病理学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

HER2 陽性胃癌における癌胎児蛋白発現に関する後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学人体病理学講座 助教 藤本正数

3. 研究の目的

HER2 検査陽性の胃癌の臨床病理学的特徴は完全には明らかになっていません。本研究では当院で胃癌の HER2 検査が行われた患者さんで、病理組織標本における HER2 と癌胎児蛋白と呼ばれる一群の蛋白質の発現の関連を解析します。この研究により、さらに精度の高い個別化治療が将来的に可能になるかもしれません。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

胃癌の患者さんで、平成 23 年 1 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日までの期間中に、胃癌で HER2 検査を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、本学で切除された病理組織、胃癌のステージ、血液検査の結果に関する情報です。個人情報公表される事はありません。

(3) 方法

本学附属病院に保管されている病理組織を用いて、癌胎児蛋白(SALL4、GPC3、AFP)の発現を免疫組織化学的に検索し、これらが HER2 の発現と相関するかどうかについて検索を行います。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学人体病理学講座 担当医師 藤本正数

TEL:073-441-0635 FAX:073-444-5777

E-mail: fujimasa@wakayama-med.ac.jp